

## 平成27年度 第4回石岡市ふるさと再生会議 会議録

### 1 会議の名称

平成27年度 第4回石岡市ふるさと再生会議

### 2 開催日時

平成27年10月5日（月）14時00分から16時00分まで

### 3 開催場所

石岡市役所本館1階大会議室

### 4 出席者

17人

### 5 会議録（要旨）

#### （1）開会

#### （2）会長挨拶

#### （3）議事

##### 1) 石岡市人口ビジョン（案）について

###### 【会長】

事務局より資料1の説明をお願いします。

###### 【事務局】

資料1説明

###### 【会長】

ご意見、ご質問あればお願いします。

###### 【委員】

前回指摘して頂いたが、今回見やすくまとめて頂き感謝する。改めて確認だが、10月末までに作成・提出という認識で良いか。

###### 【事務局】

10月末までに策定し、公表する予定である。

###### 【委員】

アンケート調査なども分かり易くまとめられ、市民の皆さんにも分かりやすいと思う。

###### 【会長】



石岡市は野心的な目標値を設定している。市民への公表へはホームページ等で分かりやすくするようにして頂きたい。

## 2) 石岡市総合戦略（案）について

### 【会長】

事務局より資料2の説明をお願いします。

### 【事務局】

資料2説明

### 【会長】

基本目標1「市の強みを活かした安定した雇用の創出」について、ご意見、ご質問あればお願いします。

### 【委員】

農産物のブランド化の推進について、売る場所を増やした方がよい。せっかくのブランドを作っても売る場所がなければ売ることができない。道の駅や石岡駅など。

### 【会長】

販路の拡大ということだと思う。

### 【委員】

KPIの数値はいつ設定していくのか。

### 【会長】

我々の会議の結果を踏まえ設定していく。

### 【事務局】

KPIについては、本日の会議を踏まえて、庁内会議であるふるさと再生本部で数値設定する。ここでは今後、進行管理でご協力をお願いしたい。

### 【会長】

時期的にはいつか。

### 【事務局】

最終確定は10月末を予定、その後公表する。

### 【委員】

活動は年度ごとに落とし込む予定か。

### 【事務局】

戦略に掲載されている事業の詳細について、事業によって、国からの新型交付金を充当しながら実施していくものが多い。毎年年度末に交付金活用の計画を公表していく。

### 【会長】

数値は毎年国の交付金等の関係で変わっていくということか。

### 【委員】

今回の計画とのつながりが分かるように、市民向けに公表して欲しい。

**【会長】**

国は関係なく、可視化をしていってほしい。

**【事務局】**

事業の可視化については検討していきたい。

**【会長】**

販路の拡大について意見があった。スカイツリーには県内の出店も多いと聞く。そのようなサテライト店はどうか。

**【委員】**

良いと思う。地域のお土産がもっと気軽に買えるような道の駅が欲しい。

**【委員】**

道の駅の一番近いのは行方市だろうか。市内には農協の直売所はある。

**【委員】**

道の駅の要望は出しているが、なかなか実現できていない。

**【会長】**

道の駅は要件が厳しい。道の駅の冠がなければ、国の補助金が使えず市が全額を負担することになってしまう。

**【委員】**

直売所は現在でも飽和状態のため、かなり差別化しないと経営が厳しい。高齢化している農家との関係もあり、新規就農者を探すことが一番の課題となる。新規就農者の確保をどのようにやっていくのか。

**【会長】**

生産量をアップできなければ1つあたりの商品価値、付加価値を上げていくしかない。また、売れる場所を増やしていくというのは大切。都内のアンテナショップなども含めて考えていくことが必要だろう。

**【会長】**

基本目標2「市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる」について、ご意見、ご質問あればお願いします。

**【委員】**

朝日トンネル経由バスの試験運行について、今期限りであれば外す必要あり。継続するのであればつくば市との関係も含め調整が終わっているのか。継続しないのであれば記載できるのか。

**【事務局】**

交付金を使用しているため、戦略には必ず記載が必要。今年度の試験運行の結果を検証し、改善した上で実施を検討していく流れとなる。

**【会長】**

利用状況はどうか。

**【事務局】**

往復 14 便で多い時で 1 日 40-50 人程度。

**【委員】**

いしおかのお祭りは昨年より 5 万人程度観光客が減っていると聞く。減った理由として主なものをお聞きしたい。

**【事務局】**

シルバーウィークとの重複や災害との影響もあると考えられるが詳細は未だ不明。

**【委員】**

45 万人を 60 万人まで今後増やしていくための手立てはあるか。

**【事務局】**

本年度からこれまでの見るお祭りから体験できるお祭りに変化させている。そのような工夫を改善しながら調整していきたい。

**【委員】**

自分たちが楽しむための祭りから来てくれた人を楽しませる祭りという視点は大切。今後も努力していきたい。

**【委員】**

安全面から御幸通りは出店を出さないというルールでやってきたが、石岡駅を降りてからは何もない殺風景な状態となっている。そのような状況の改善も必要ではないか。

**【委員】**

移住の推進について。「二地域居住」と「二地域間居住」の言葉の使い分けはあるか。茨城県の資料では「二地域居住」としているようだ。

**【事務局】**

使い分けはしていない。

**【会長】**

二地域間という空間を示した言葉がよい。石岡市では「二地域間居住」としたい。

**【委員】**

ふるさと移住の相談窓口が東京にあるが、最も問合せが多いのが山梨、長野、茨城は 17 位とのこと。石岡市のパンフレットは置いていない。市内だけでなく、都内への情報発信もしっかり対応していく積み重ねが大切。

**【委員】**

空き家の利活用について。空き家の状況について分かっているならば教えてほしい。

**【事務局】**

空き家全域の調査は市では行っていない。概ねの数値は全国調査で分かる。必要に応じて状況を調べていきたい。

**【会長】**

状況が分かれば次回ご報告して欲しい。

**【委員】**

ブランド化については農産物として具体的に明記した方が前段部分とつながりができるのではないか。

**【委員】**

地域おこし協力隊について。現在の状況はどうなっているのか。新たに作るのか。

**【事務局】**

東京圏から実際に地域に来てもらって定住を図る仕組み。石岡市では現在0名だが、常陸太田市など近隣市町では実績あり。石岡市はどの地域でどのような活動を行ってもらえるのか検討していく。

**【委員】**

地域おこし協力隊の報酬などの仕組みについて分かれば教えてほしい。

**【事務局】**

国の補助制度ではあるが、居住者に対する報酬などはない。石岡に移住してもらってそこで活動しながら報酬を得ていく仕組み。

**【会長】**

基本目標3「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」について、ご意見、ご質問あればお願いします。

**【委員】**

公園を作るアンケートが配布されているが、説明お願したい。

**【事務局】**

地域遊び場充実事業として、地域で遊ぶ場所の調査を行っている。

**【委員】**

是非、アンケート結果を活かして良い公園を作って欲しい。特定の中学校に通うのが嫌で他市へ移住している人の声も聞く。教育環境の充実が必要。

**【委員】**

なぜ違う学校に行くのかの要因が分からないと解決できない。

**【事務局】**

転入出アンケート調査では特に意見が挙がってきていない。

**【委員】**

不動産関係の仕事をしているので、そのような声は聞いたことがある。根本よりもイメージの話なのではないか。石岡市よりつくば市の方がイメージが良いなど。総合戦略でもブランドやイメージの向上が示されており、その点を努力するのが重要。

**【会長】**

教育委員会等に意見を投げたり、議会でもチェックしたりして頂く。イメージアップも含めて。

**【委員】**

赤ちゃんクーポン事業の月齢はいつまでか。

**【事務局】**

対象は0歳～1歳までの1年間。目的は0歳児の検診をしっかりと受けて頂くためにクーポン導入している。

**【委員】**

ワークライフバランスについて、育児休業等に取り組む企業を支援するだけか。それを増やすような取り組みはないか。

**【事務局】**

国全体のテーマでもあるため、今後検討していきたい。

**【会長】**

このような制度があればよいというのがあるか。もしあればご発言願いたい。

**【会長】**

基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る」について、ご意見、ご質問あればお願いします。

**【委員】**

市の広報誌10月号には満足度調査結果が掲載されている。10代～70代の各世代で石岡市に求めるもの第1位が「交通安全」がとなっている。今後どのように交通安全を推進していくのか、石岡市のイメージをアップさせていくことが必要。

**【会長】**

石岡市の交通事故件数は多いのか。記載してもよい。

**【事務局】**

県内においては石岡市の交通事故はそこまで多くない。平成24年度は県内23位、県平均よりは少ない。アンケートを実施した6月は道路交通法の改正があった時期。自転車の安全などに関心が高まっている。

**【委員】**

交通事故が少ない街は誰もが住み続けたい街。買物弱者は交通弱者でもある。長期的な視野で交通事故を減らしていくことを目指していくべき。

**【委員】**

移住に関しては、市としてはヒト・モノ・カネをどの程度考えているのか。定住で空き家を斡旋しても長く定住してくれるか分からない、石岡市としてどのように支援するかが重要。市の覚悟を聞かせてほしい。

**【会長】**

それは究極的には組長の意識だろう。事務局としては実現するために努力していくということ。

**【委員】**

市民からの意見を受ける市としての窓口を一元化するようなことはできないのか。

**【事務局】**

事務局レベルの再生本部で議論し、公表していく。公表後は各事業課に割り振って事業を進めていく。

**【会長】**

要介護者認定率を増やしていかないということが重要。その数値を減らしていけば、その分事業費に回せる。医療費も同様。議論のためには具体的に数値を入れていくことが有効だろう。杉並区のようにインセンティブとして減少分を戻していくような仕組みも実施している事例もある。

**【会長】**

全体を通して、意見があるか。特に観光面から人を呼び込むための手法でアドバイスがあれば頂きたい。

**【委員】**

人を呼び込むための手法ということだが、行政のよいシナリオより住民が自分たちの地域の良さに気付かない限り発展しないということ。話し合いやワークショップなどで身近な気づきを増やしていく。住民たちが一番の広報マンになれる。それが口コミ。お金をかけずにできる。行政は住民のサポートをするのが役割。住んでいる人たちが観光を磨き上げていくことが重要。

**【会長】**

県内で上手くやっている事例はあるか。

**【委員】**

旧真壁地区が上手にやられている。

**【委員】**

議会の総務委員会の意見を反映することについてどう考えているか。職員の数が減っているなど貴重な意見も出ている。

**【事務局】**

意見を踏まえてふるさと再生本部で議論していきたい。

**【委員】**

市だけで実施していくのは大変。民間や市民団体の力を上手く活用して欲しい。八郷では八豊祭というイベントを開催して、移住に呼び込む若い活動団体もある。鳥取県智頭町では住民が意見を出して住民のアイデア

にお金を出す仕組みもある。

**【委員】**

地方創生について住民を巻き込んで考える場を作っていくことが有効だと思う。

**【委員】**

どの自治体でも地方創生を検討している中で、若い世代を対象とするのか高齢者を対象とするのか、石岡市としての特徴を具体的に出していくことが必要。

**【委員】**

医療費を市で負担すると国の補助金が減らされるということはないか。

**【会長】**

医療費補助を小学生、中学生までに拡大すると補助金に影響あるのかということか。

**【事務局】**

詳細は不明である。

**【委員】**

効果がなかった場合に補助金の返還が求められたりすることはあり得るのか。

**【事務局】**

交付金に関しては、国の方針のため詳細は不明。

**【会長】**

会計監査院の検査はお金の流れのチェックであり、基本的に効果とは別の話ではないだろうか。一般的には交付金事業は要件を満足することが前提。

**(4) その他**

**【事務局】**

今後の会議の開催について。今後はふるさと再生会議の本部にて検討する。次回のタイミングはまたご連絡する。

**(5) 閉会**

以上